

取扱説明書



警告

安全のために

ご使用前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

LCDプロジェクションテレビは正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に高い電圧を使用しているので、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

- お買い上げ時とそのあと1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。
- 5年に1度は内部の点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口修理をご依頼ください。

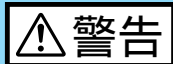
万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- プロジェクションテレビを落としたり、倒したり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口修理を依頼する

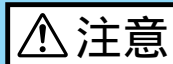
警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



風呂、シャワー室での使用禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたや前面ネットを開けたり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

通風孔に異物を入れない

内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると火災や感電の原因となります。

禁止

分解禁止

交流100V



禁止



禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源電圧でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

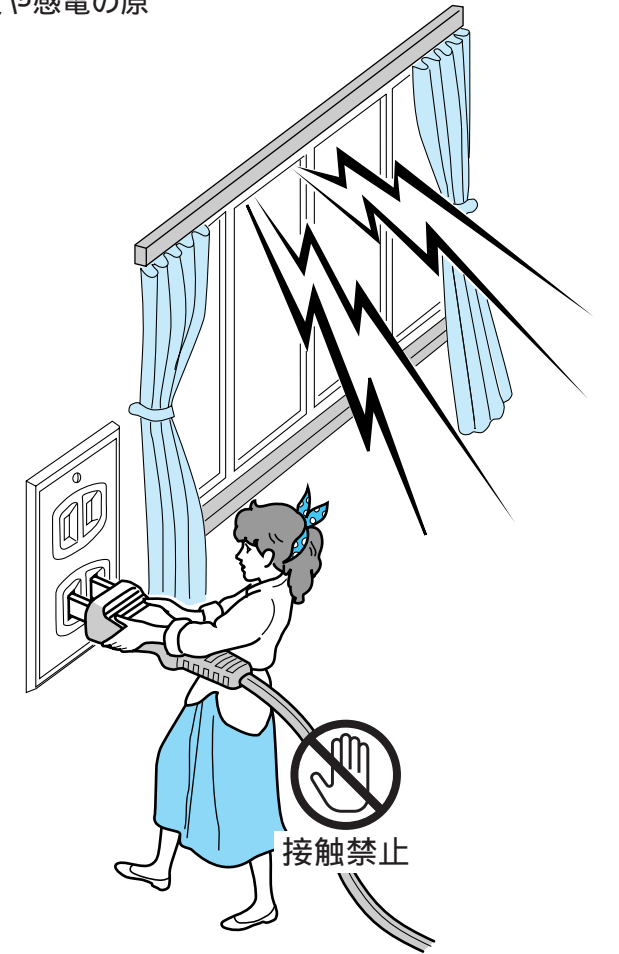
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。また、キャスター付きのプロジェクションテレビは動きやすいので、よりかかったり押したりしないでください。テレビスタンド、ラックなどは、ソニー専用以外のものはお使いにならないでください。



水ぬれ禁止

テレビの上に水が入ったものを置かない
内部に水が入ると火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない
感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止



水ぬれ禁止



注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

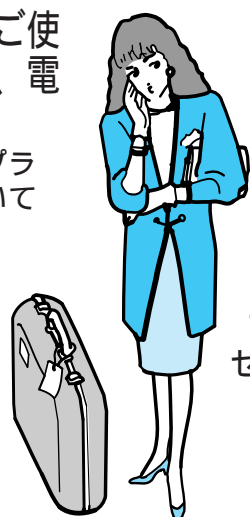


ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

移動させるときは、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、接続コードも必ず抜いてください。

安全のため、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。また、床の材質により傷がつきやすいものもありますので十分ご注意ください。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

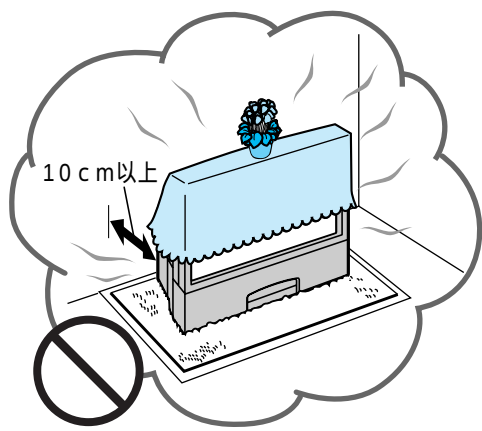
転倒防止の処置をする
LCDプロジェクションテレビは転倒防止の処置をしないと、テレビが倒れてけがの原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

テレビにぶらさがらない、上に乗らない、重いものを置かない

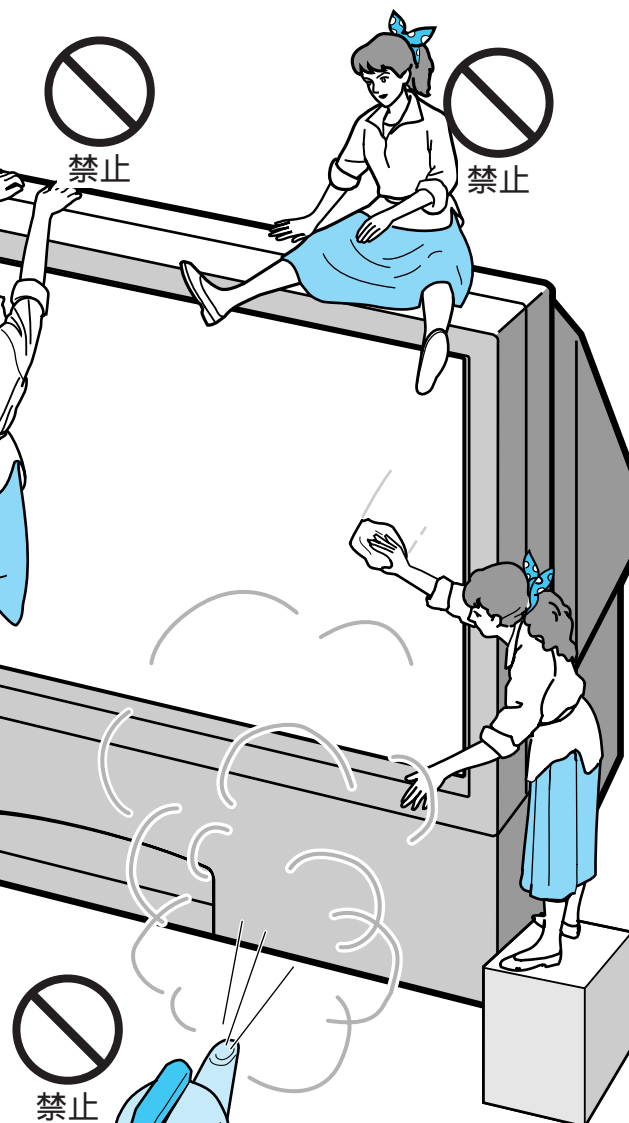
倒れたり、落ちたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

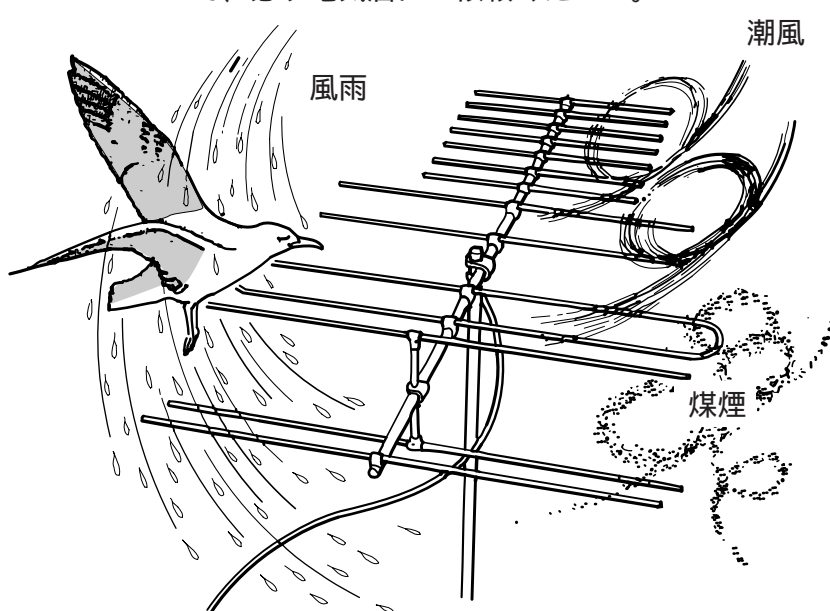
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かない。
- 布をかけない。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



使用上のご注意

見る場所について

- 画面の縦の長さの5～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れません。ただし、クリアビジョン、ハイビジョン放送の場合は、画面の縦の長さの3倍程度の場所でご覧になれます。
- 適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

スクリーンについて

- スクリーンの表面はほこりが付きやすいので、ときどき柔らかい布でふいてください。また、表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけないでください。
特に移動のときは、スクリーンに傷がつかないようにしてください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- + とーの向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in Japan